

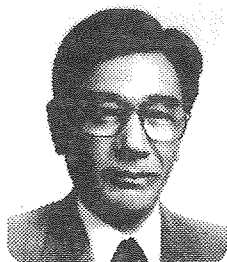
建設・不動産明大会会報

第23号

昭 和会建設不動産部会は、発展的解消と言う形で、『建設不動産明大会(明大会支部)』として新スタートした。この事は、良い事だと思う。蛇も脱皮しなければ死んでしまうと言われるから、組織改革は当然の事であり時代の要請である。むしろ問題は、これからである。

会の運営として、この新しい組織をいかに活性化し、会員の皆様が喜んで出席して下さる様な会にするかである。会員の皆様は、昨今の厳しい状況の中、仕事をしているはずだから、時間をつぶして出席して良かったと感じず集いにせねばならぬのではないか。それには、若い人達を中心にした〔委員会〕を設置し、今の若い人達がどんな事を求めているかを模索し、問題を発見し、それを活動計画として役員に提案し、役員会等で十分に審議し取り上げるべきは取り上げて活動すべきであると思う。

次に参加者の心構えとして、どう実際の仕事に結び付けるかである。仕事を結び付けるには、待っているのは、向こうから来るものではない。全ては自分の心掛け次第だと考えれば、自分の血となり、肉となるはずだ。会と会員の発展に期待!!。



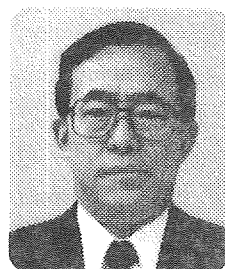
細田安治

◆『画竜点睛』◆

駿河台にリパティタワーが、燦々と輝いています。少子化や社会構造の変化の中で明治大学は、大きくその変革を求められています。魅力ある大学の創成、個性輝く人材の創出と20世紀に向けての都市型大学を目指す明治大学のシンボルタワーです。

我が建設不動産明大会も又、同業種校友に範を示さねばなりません。誇りある会員相互の研鑽とともに校友活動の一翼を担う諸活動が求められます。新会員の参加による新たな感性と個性を尊重し、同業種に限らず新たな在りようを求めて拡大と向上を計り、リベラルな伝統を築きたいと考えます。

経済環境の変化の中でファシリティマネジメントやライフサイクルコストの研究を余儀なくされる同業種集団として新会員の参加と、その活躍は必要不可欠です。



中川俊夫

大学の先生や学生との交流を視野にいたした活動も必要であり、大学校友会支部活動もまた無視出来ぬ課題です。『建設不動産明大会』が魅力ある大学創生の画竜点睛となればと念じます。

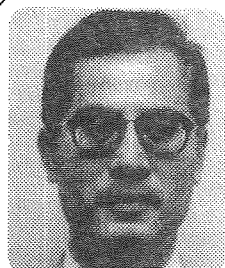
◆会の運営に関して◆

「建設・不動産部会」から『校友会・建設不動産明大会』に推移して早2年が過ぎた。経過については、総会の席を始め、何度も機会ある毎に、会員諸氏に説明してきたので、ご理解頂けるものと思う。昭代会の色々ある部会の中のひとつとして、生まれ育ってきた会は、今は《校友会》の組織に入ったという事で、今迄は、会員相互のビジネスに結びつく様実利の伴う親睦会と言うのが主たる目的でしたが、これに加えて、学校の運営に寄与する事ができる会になる事を大きな目的とする様になりました。私達の会は、建設と不動産と言う異業種が結びついているユニークな会であり、優秀な人材に恵まれ今日に至っている。創設以来、私は役員を努めさせて頂いているが、今日程、会の運営が世間の景気に左右される点が多いのは、残念ながら事実であり、色々な面で余裕がなくなっている。

大きな視野に立って、全国的な活動を目指し、校友会にも入り、その理念を忘れず、会員を大切に、相互利益を考慮していきたいと思えます。



三橋一夫



鈴木正彦

最 近、国土庁より99.1.1時点の地価公示価格が発表された。それによると、昨年は下落率が縮小し、一部都心商業地で反転上昇する動きも観られたが、今年はそれらの地点でも横ばいでしたが、その後の税制改正等で底打ちは間近だと思います。

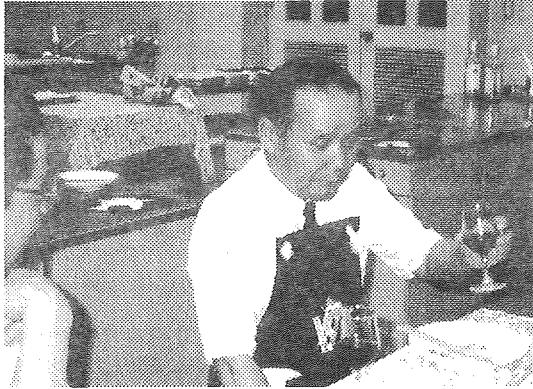
我が明大会を含め、どんな会でも会員として名を連ねている以上、「ただやって来た。言われたから来た。」と言う消極的な参加でなく『自分の判断で来た。目的があるから出席した。』でなければ意味がありません。更に「企画に参加する。会員のお世話をする。自らどんどん意見を出す。大勢の人に参加を呼びかける。」等積極的な行動が必要です。積極的な行動を取る人が多い程、その会は活性化し、楽しく価値のある存在となるものだと思います。

分科会の不動産駿台会は、今皆が和気あいあいと積極的に取り組み、月1回情報交換会を始め、他大学との交流や旅行会を通じ相互の信頼関係を含め、会員同志の成約に結びついております。会員の皆様どうぞやるなら楽しくやりましょう!

平成10年納涼パーティー

- ・日 時 平成10年8月28日(金) 午後6時30分～
- ・場 所 江上料理学院(市ヶ谷)
- ・出席者 15名

最初は、参加を嫌がっていた？出席者が、次第に料理作りに本気になっていく。
いつもの明大会と異なる表情(家庭では、決して見せない顔つき?)で、真剣になっていった一時



「自分で作る料理・ 納涼懇親パーティー に参加して」

弦本 国昭 (昭和33年法卒)
(東京不動産信用保証(株)取締役総務部長)

私は、98年の7月17日から2泊3日で友人が所有する長野県高遠の別荘に行きました。

集まったのは、同年輩(58歳～62歳)の男性ばかりで5人である。朝晩の食事の準備、昼は三峰川の河原でバーベキューもしましたが、料理を作ったのは、私以外の4人でした。私は、何も作れず、ただ食べるだけで終わりました。男でも料理が出来なければとこの時思いました。

私は、大分県出身、女房は、鹿児島県出身で九州の悪い風習で、男は厨房に入らずで、私は、料理をした事がありませんでした。

今後は、料理の勉強をしなければと思っていた所に、建設不動産明大会から江上料理学院の今回の案内状が届き、一寸不安でしたが即申し込みました。

そして、8月28日、江上料理学院では男ばかり15名が生徒となり、江上先生の指導で4種類の料理を教わりました。出来上がった料理は、実に美味でした。

自分達で実際に作った『鰹の中国風たたき』は自宅でも何回も練習しており、今後前記の別荘に友人と集まった時は、私が皆に料理を作ってやりたいと思っています。

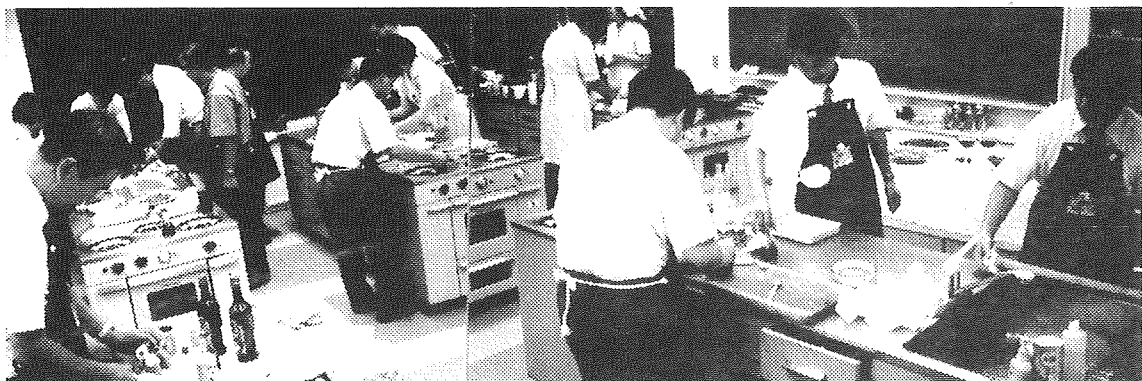


江上先生が楽しく指導してくれた



自分で作った料理はやはり美味しい

実力発揮！味自慢！



真剣そのもの？

平成10年リバティタワー見学会と勉強会

- ・日 時 平成10年12月5日(土) 午後2時00分～
- ・場 所 明治大学 リバティタワー、大学会館、アミ
- ・出席者 44名

リバティタワーの最上階から各教室や学生食堂等の各施設を見学し、その後の香山先生の勉強会で、意識を洗礼し、そして、会員同志が、積極的に親睦を深めた1998の『望年会』の時



『文化の継承と建築の役割』

香山 壽夫先生

建築をやろうとしてと心を決めてから40年余が経過しましたが、その頃は、まだ建築というのは、「大工さん」の仕事だと言う感じがしていました。建築の世界は、広いという認識が非常に少なかった時代です。

最近では、建築は広がったという感じですが、逆に安易になったという面もあります。私自信日本の大学では実際に建築を習ったと言う感じが余りありません。アメリカに行って初めて建築は、こんなに面白い仕事だと知りました。アメリカで建築の眼が開けたような気がしています。アメリカの大学には、社会との交流が色々な意味であります。みんなで物作りをしています。その物作りは、人間の一番報いられる仕事だと思っています。

最近では、色々と仕事も細分化されてきていて、物を作るというトータルな喜び少なくなってきた様な気がします。

人間は物を色々作りますが、いかに建築が素晴らしいか、面白いかの理由として、第一に、それが地面の上、大地の上に建築される点にあると言えよう。単純な事ですが、建築された物の上には、大空が広がっています。口で言えば、当たり前ですが、人間の一生を賭けても汲み尽くせない大きいものがあります。これは本当に大きな喜びを与えられる仕事だと思っています。大地の上に建つこと以上に、人間に喜びを与えるものはないと断言できます。

建築、建設、都市開発そして、不動産はそれぞれ色々な関わり方があると思います。共通に大地の上で仕事をしているわけです。建築のために大地を削ったら、その削った人間は、それ以上のものにして返す責任があります。これが肝心です。大地を開発した以上は、元の自然以上のものにしなければならない。一言

で言えば、大地の上で我々の仕事が成り立ちます。大地に根を下ろして、その上に大空が広がります。

第二に、我々の仕事は、日常の人々の毎日の生活と関わっている事です。それは、とりわけ他の芸術と比較して強く感じます。建築も芸術の中の最高の『芸術』だと思います。なぜかと言うと、人間にこんな大きな喜びを与えられるものは、他に比較するものがありません。日本では、建築は芸術ではないと思われています。しかし、毎日の生活で、色々な人間の中に生きていくものこそ本当の芸術です。その特徴を一番持っているのは、建築だと思います。

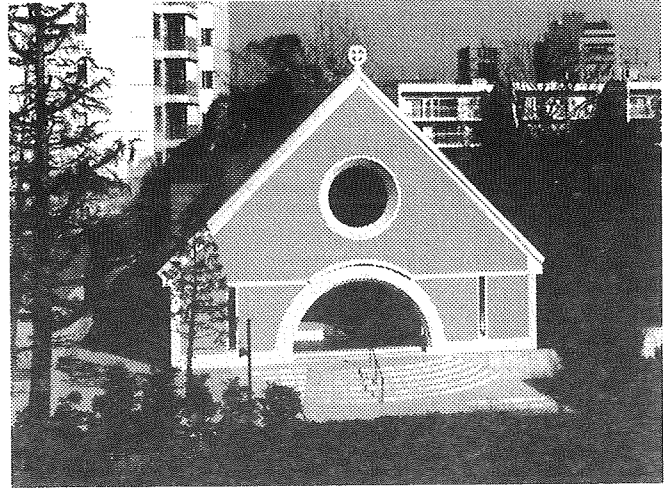
ところが、学校の先生の中には、教育施設の建築に関して、「一所懸命建築をやるのは結構ですが、教育は心です。建物なんてどうでも良いです。」と言われる方がおります。しかし、イギリスでは、子供を立派に教育するには、良い空間を与えなさい。良い空間の中で教育された人間は、どんな場所に行っても立派な仕事を成すと言われていています。15年程前ボストンのハーバード大学の教授に「日本の学校は、素晴らしいが、日本の町には、住む喜びがない。住む喜びがない町で、子供を育てようとは思わない。」言われました。この言葉は、本当に胸に刺さる言葉でした。今でも真実だと思います。確かに日本には、世界で注目された建築があります。しかし、残念ながら、日本には、統一ある一つの空間として町を作られている例は、ありません。

今、情報化社会と言われる。この情報化社会になると人間は、どこでも情報が繋がるので、どこにいても生活や仕事ができる様な上っ面の議論がされています。勿論、情報技術の進歩を否定するつもりはありません。しかし、人間が一緒に出会って話をする。或い

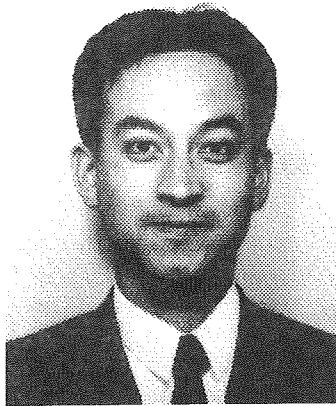
は一緒の場所に住むと言う意味は、決して消えることはありません。情報化社会が進めば進む程、ある場所にしっかり人間が一緒に住む事の意味は、かえって重要になります。町をしっかり作る事を蔑ろにしたら、人の真実の繋がりは消え、本当に社会は、駄目になります。言い換えると最初の話と繋がるのですけれども、人間が大地のある場所に、しっかりと住むと言う事が人間の根本です。人間は、固有の場所に固有の形で住んで本当に心の安心が得られます。

社会が変化して情報通信が発達すればする程、一方でそこに行けば安定した秩序や自分の帰属しているその安心した世界があると言うものが確保されている事が必要だと思います。この役割を果たす建築或いは建設だと思います。広い意味で、こういう住居環境を作っていく事に、期待されていると思います。広く考えますとそれは我々の責任であり、期待されている事だと思います。

※前記の内容のご講演の他に、当日は、香山先生が設計された建築や海外の町並みや建築のスライドを観ながら、都市や建築のあり方や不動産会社の大地の考え方、香山先生の活動のコンセプトについてのお話をお聴きしました。



香山先生の作品 東京タワー近くの教会



「リバティタワー見学会 勉強会、忘年会に参加して」

井口 浩 (昭和59年大学院卒)

((株)井口浩フィフス・ワールド・アーキテクト代表取締役)

98年12月5日、リバティタワーの見学会、香山先生の勉強会、忘年会と建設不動産明大会の会合に出席させて頂きありがとうございました。

さすが明治大学のOBの方々は、多彩だと改めて感心致しました。また、香山先生とも久しぶりにお話する事ができて、とても充実した一日となりました。

簡単な自己紹介をしますと、私は、川原昌洋氏にご紹介頂きまして、この度明大会に入会させて頂きました。

以前は、松田平田とUG都市設計に計約11年勤め、都市計画と建築設計の修行をしてきました。約3年半前に建築家として独立しました。お蔭様で現在まで順調に実績を増やす事ができました。(テレビ、雑誌等のメディアに約20回以上取り上げられています。)

今後も頑張っていきますので、宜しく願い申し上げます。



完成したリバティタワー

平成11年新年賀詞交歓会

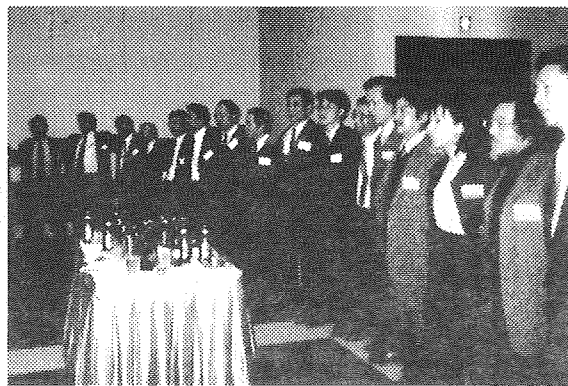
- ・日 時 平成11年1月27日(水) 午後6時30分～
- ・場 所 明治大学リバティタワー 23階 サロン紫紺
- ・出席者 47名

99年のスタートに相応しく、リバティタワーの23階のサロン紫紺で、恒例のオークションの企画も実施、三味線漫談も交え、新顔もお見えになり、明るく、楽しく懇親を深められた。



99年を情報交換で乗り切ります。

春風亭美由紀師匠



99年を期待して校歌斉唱!

[ルネッサンス21] 計画への募金のお願い

仮称：募金活動責任者 三橋一夫

明治大学創立120周年記念事業募金活動が、99年も全国的に続けられています。その目標額は、**100億円**で、公式には、96年4月から受付が開始されました。

建設不動産明大会会員の皆様の中には、既に、数年に渡り色々の機会を通して多額の募金を納められた方々も多いかと存じますが、明大会としましては、99年度（平成11年度）から、積極的に募金活動を展開して参りたいと思っておりますので、会員の皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

◆4月17日現在の大学全体への申し込み金額は、**55億7,000万円**

●募集目標金額

99年6月～9月迄の期間目標額

200万円

●募金方法

大学指定の振り込み用紙を、機会を見て、明大会事務局から配付致します。その指定振り込み用紙の余白に、『建設不動産明大会』と明記されているかどうかご確認の上お振り込み下さい。『建設不動産明大会』と明記されていない振り込み用紙の場合は、余白欄に『**建設不動産明大会**』と明記の上、お振り込み下さい。

◆個人や会社、団体等で、50,000円以上ご寄付をされた方は、大学側でリバティタワー等前のプレート板にお名前が刻まれます。

●お問い合わせ 事務局 (03-5298-2691 高橋) へお尋ね下さい。

※尚、この寄付金は、税法上寄付金として経費計上ができます（但し、10,001円以上）。

税法上のお問い合わせは、会員の宮田英樹税理士 TEL. 03-3556-1787 へ

不動産駿台会情報!

—分科会情報—

建設不動産明大会の分科会『不動産駿台会』は、平成9年に発足しまして、月1回の不動産情報交換会を行っています。今年、平成11年4月で27回目になりました。

会場は、会のメンバーであるナカノコーポレーション本社（市ヶ谷）会議室、東洋不動産本社（虎の門）会議室、明治学会館、そして、平成10年まで世話人代表をしていた鈴木正彦氏の自社ビル（新宿南口側）の会議室で行っています。

登録会員は、現在までに94名です。毎回20名程度が参加しています。参加費は、1,000円です。会の内容は、まず20分位不動産に関するホットニュースを会員より発表されます。その後各自持参した不動産情報等（チラシ等）の出席者分を配付してそれぞれ発表致します。資料のある人無い人も参加が自由です。

この情報交換で、不動産物件だけで、平成11年4月までに**6物件12社**により成約されました。その仲介手数料の中から会に寄附された金額は、**145,000円**になりました。このお金は、会の方から社会福祉に利用する事を目的としています。

また、平成11年4月2日に新築された明大リバティタワー23階の岸本記念ホールで、明大を含めた5大学共催による「不動産大懇親会」を盛大に行いました。

参加したのは、慶応不動産三田会・早稲田不動産稲門会・中央不動産白門会・青山学院不動産青山会、明

大不動産駿台会のメンバー98名です。

会は、まず明大岡村了一理事長の挨拶がありました。その中で明大創立時の岸本青年のエピソード等貴重なお話がありました。

それから参加者が5大学の枠を超えて名刺の交換等交流を行いました。

そして、各大学が、各々パフォーマンスを持ちました。更に、明大法学部昭和33年卒業の高山礼至（のりゆき）氏のイタリア製史上最高傑作のアコーディオン演奏が行われました。最後に、高山氏の演奏で各大学の各々の参加者による校歌を声高らかに歌い大好評の内に終了しました。

これからは、建設不動産明大会不動産駿台会の情報交換だけでなく、他の4大学等の会員と交流深めていきたいと思えます。

不動産駿台会は、**新しいメンバーを募集**しています。明大OBの不動産関連の方は、遠慮なくご参加をお待ちしております。

不動産駿台会 世話人代表

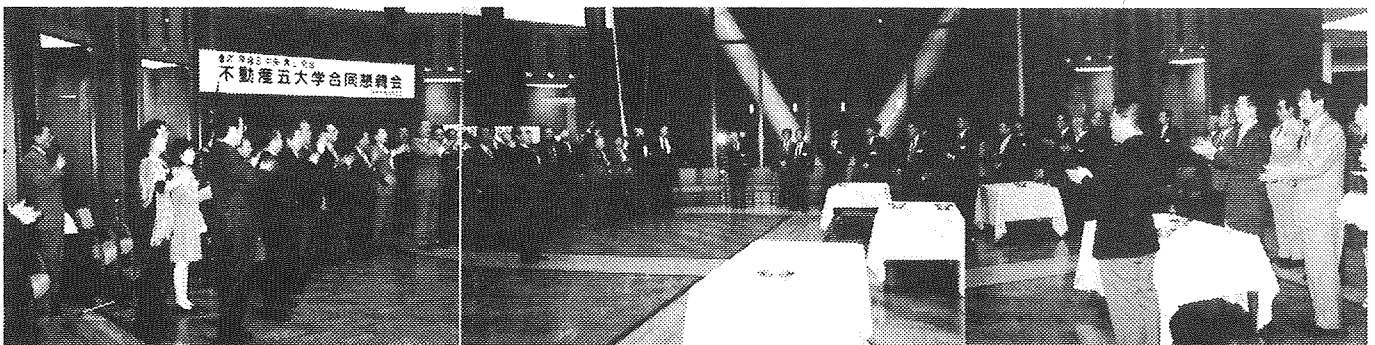
(株)フレンドリー不動産 代表取締役
加藤 知裕 (昭和35年経営卒)
TEL. 03-3301-3400



高山礼至氏の
アコーディオン演奏



建設不動産明大会として、不動産関連の皆様ばかりでなく、建設不動産明大会全体の情報交換会を企画予定をしています



校歌斉唱

つり同好会情報!

—分科会情報—

つり名人は、自分だと各人が思っています?!



- 期 日 平成10年6月28日
- 場 所 相模湾小坪港
- 内 容 シロギス仕立 7人参加
- 期 日 平成10年12月12日
- 場 所 相模湾小坪港
- 内 容 カワハギ仕立 7人参加

つり同好会も新メンバーを募集しています

つり同好会 世話人
エーピーサイン 代表

沼田 傑 (昭和46年経営卒)

TEL. 03-3377-9910

※前記の分科会の他 明大会には、ハイキング同好会、ゴルフ同好会等もあります。

明大会事務局からのお知らせ

「建設・不動産明大会」の運営細則の追加(公示)

(弔辞規定)

第3条 本会の会員の弔辞について、会員本人に限るものとし、明大会より弔意を表するものとする。
弔意は、弔電、生花、香典等とし、役員会の審議によるものとする。

《訃報》

- ・川口洋輔様 (昭和42工卒・川口設備研究所)
 - ・三橋正治様 (昭和38工卒・三橋建築設計事務所)
- ご冥福をお祈りします。

尚、事務局では、FAX網を構築しておりますので、弔辞等の情報が入りましたら、お知らせ下さい。

◆会員の皆様のご転勤やご転居等されました方は、下記にご連絡をお願いします。(明大会事務局)

TEL. 03-5298-2691

FAX. 03-5298-2692

■住所 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-2 (株)久保工内 事務局長 高橋 弘

明大校友会便り

98年の全国大会は、青森開催でした。

平成10年(98年)校友会の全国大会は、“ねぶた”が行われる8月1日から3日間、青森で開催された。

私達の建設・不動産明大会支部は、一昨年の甲府大会に次いで2回目の参加、甲府には10数名で日帰り参加をしたが、98年は、遠いこともあり支部長の私と副支部長の三橋さんの二人で、支部を代表して出席した。

初日は、午後から全国支部長会議が行われ、一昨年は、私達の支部と同時加盟した支部の紫明のネーミングめぐり紛糾したが、98年は、さしたる問題もなく多少身構えていた私にとっては、少々あっけない気がした。

翌2日は、恒例の大会青森市長の私達を迎えて下さる心温まる祝辞や、戸沢学長の「縄文人の世界」と題する考古学に関する基調講演(何しろ山内丸山遺跡で話題の地)、青木会長、岡村理事長の寄附金要請を込めたいつもより力の入った挨拶等のセレモニーが行われた。場所を変えた懇親会では、明大会とも親しい佐

藤満喜さん達の小母様方や地元の方と杯を酌み交わしながら、津軽三味線の名人に聴きほれた。

今回は、天候が悪く、“ねぶた”も残念ながら雨の中の見学となってしまったが、飛行機が青森空港に着陸できずに北海道に行ってしまう等、実行委員の方々は、大変苦勞をなさった由、お世話になりました。お蔭様でこれは全く私的な事だが、仲人をして頂いた棟方志功ご夫妻のお墓参りが出来たし、面白いとは言えなかった山内丸山遺跡も見学したし、ホヤも嫌になる程食ったし、旨い酒のある事も分かったまあまあ好い旅だった。

平成11年度(99年度)は、東京で開催されることになった。数多く参加し、良き友人をたくさん作りたいたいものです。

報告：建設・不動産明大会支部支部長 兼松紘一郎

松戸支部が発足されました。

平成10年11月29日長年の懸案であった明治大学校友会『松戸支部』の設立総会が開催されました。我が建設不動産明大会からも兼松支部長始め数名の会員が参加しました。

設立総会は、松戸駅前のホテルニューオオタニで約80名の会員が参加、各議案が全て承認されました。続いて第2部の祝賀会が16階の孔雀の間で開催されました。

青木校友会長の祝辞があり、支部旗の贈呈が行われ

ました。来賓の祝辞の後、松戸支部参与の衆議員松本和那氏(昭和37商卒)、渡辺博道(50大学院卒)両議員もお祝いに駆けつけられました。

また、明大会でもお馴染みの宝井馬琴師匠の当意即妙なお話を聞きながら盛大な祝賀会となりました。

報告：建設・不動産明大会支部 秋元道別

明大会の全体で、各々のお仕事上お取引が成立しています。会員同志で、経済活性化を実現??

■編集後記

- ・今回も、会員の皆様にご協力をお願いしました所、快くお引き受け下さいました事を感謝申し上げます。今後共、皆様のご協力の程、宜しく申し上げます。
 - ・明大会の会報も、第23号を無事発行する事ができました。ただ、広報を担当している者が気づかない所で、何か集まりなり、仕事関係なりの動きがございましたら遠慮なく下記担当者までお知らせ下さい。
- 広報担当 柳沢克行(自宅03-5607-5454)

■編集担当

広報部 柳沢克行 榊本行男 曾我純一 土金雅晴 太田裕康 半田陵子(順不同)